

武蔵野市まち・ひと・しごと総合戦略（素案）

1 基本的な考え方

(1) 武蔵野市まち・ひと・しごと総合戦略の位置づけ

武蔵野市まち・ひと・しごと総合戦略は、武蔵野市人口ビジョンを踏まえ、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものである。

総合戦略の対象期間は、平成27年度～31年度の5年間とする。

(2) 国の総合戦略との関係

国の総合戦略における基本的な考え方や基本方針等を勘案して策定することとする。加えて、東京都や近隣自治体の総合戦略も勘案する。

(参考) 国の総合戦略

基本的な考え方

①人口減少と地域経済縮小の克服

②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

政策の企画・実行に当たっての基本方針

①政策5原則

従来の施策（縦割り、全国一律、バラマキ、表面的、短期的）の検証を踏まえ、政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づき施策展開。

②国と地方の取組体制とPDCAの整備

国と地方公共団体ともに、5か年の戦略を策定・実行する体制を整え、アウトカム指標を原則としたKPIで検証・改善する仕組みを確立。

今後の施策の方向

基本目標① 地方における安定した雇用を創出する

基本目標② 地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(3) 武蔵野市長期計画との関係

本市では、「武蔵野市長期計画条例」にて、長期計画の策定は市の目指すべき将来像を明らかにするとともに、総合的かつ計画的な市政運営を推進することを目的とすること、市が実施する政策は原則として長期計画に基づくこと等を定めている。

現在策定中の武蔵野市第五期長期計画・調整計画（平成 28 年度～32 年度）と整合を図り、戦略的・一体的に施策を進める。

(4) 客観的な指標と効果検証の実施

各施策の効果を客観的に検証できるようにするため、施策ごとに客観的な重要業績評価指標（KPI）を設定する。併せて、改善を行う仕組み（PDCA サイクル）を導入し、武蔵野市まち・ひと・しごと創生本部において、実施の推進、実施状況の総合的な検証、見直しを行っていく。また、必要に応じて、外部有識者の意見聴取等を行う。

2 武蔵野市まち・ひと・しごと総合戦略

■基本目標 1

子育て世代を地域社会全体で支え合い、妊娠、出産、子育ての希望が叶うまちの実現

数値目標 子ども・教育分野の取り組みを特に評価できると回答した人の割合

(子育て支援、青少年施策、小・中学校教育)

29.6% (現在) → 増加 (平成 31 年度)

■ (基本目標を達成するために) 講ずべき施策に関する基本的方向

子どもたちが健やかに育ち、すべての子育て家庭が安心して子どもを産み、育てられる社会を実現することで、生産年齢人口の減少と将来的な年少人口の減少を克服する。

■具体的な施策と KPI

1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合支援

- ① 幼児期の教育・保育の提供
- ② 時間外保育事業 (延長保育事業)
- ③ 子育て短期支援事業 (ショートステイ事業)
- ④ 一時預かり事業 (預かり保育・一時保育)
- ⑤ 病児・病後児保育事業
- ⑥ 利用者支援に関する事業
- ⑦ 災害時の子育て家庭支援事業

2 地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実

- ① 地域子育て支援拠点事業
- ② 共助によるコミセン親子ひろば事業

3 青少年の成長・自立への支援

- ① 放課後児童健全育成事業 (学童クラブ等)

※KPIは、子どもプランの目標事業量と一致させる。

■基本目標 2

すべての市民が、いつまでもいきいきと健康に、住み慣れた地域で生活を継続できるまちの実現

数値目標 健康・福祉分野の取り組みを特に評価できると回答した人の割合

(健康づくり、高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉力の向上)

48.2% (現在) → 増加 (平成 31 年度)

■ (基本目標を達成するために) 講ずべき施策に関する基本的方向

すべての市民が、生涯を通して住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、地域生活に関わる人や組織が分野を越えて連携し、継続的で体系的な支援を行う支え合いのまちづくりを目指すことで、独居高齢者及び高齢者のみ世帯の増加などに対応していく。

■具体的な施策と KPI

1 支え合いの気持ちをつむぐ

- ① 地域支え合いポイント制度 (仮称) の検討
- ② テンミリオンハウス事業の推進
- ③ 障害者団体やボランティア団体などの活動支援の充実

2 誰もが地域で安心して暮らしつづけられる仕組みづくりの推進

- ① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の充実
- ② 高齢者安心コール事業の推進
- ③ 高齢者なんでも電話相談事業の推進
- ④ 地域による見守りネットワークの強化
- ⑤ 相談機能のネットワークの強化

3 誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進

- ① 健康増進と介護予防の推進
- ② 口腔ケア向上への取り組み
- ③ 「食」に対する市民意識向上への取り組み
- ④ 就労支援の充実

※KPI は、別途設定する。

■基本目標 3

個性輝くまちづくりを推進し、未来に希望が持てる持続可能なまちの実現

数値目標 文化・市民生活分野の取り組みを特に評価できると回答した人の割合

(市民活動・文化・生涯学習支援、産業の振興、災害・危機に強いまちづくり)

45.5% (現在) → 増加 (平成 31 年度)

緑・環境分野の取り組みを特に評価できると回答した人の割合

(緑化推進、循環型社会システムづくり、生活環境問題への対応)

40.6% (現在) → 増加 (平成 31 年度)

都市基盤分野の取り組みを特に評価できると回答した人の割合

(計画的な都市基盤の整備、放置自転車対策、交通環境・道路整備、上・下水道の再整備)

61.3% (現在) → 増加 (平成 31 年度)

行・財政分野の取り組みを特に評価できると回答した人の割合

(行財政改革)

3.8% (現在) → 増加 (平成 31 年度)

■ (基本目標を達成するために) 講ずべき施策に関する基本的方向

すべての市民が安全で安心して生活できるように、また武蔵野市を訪れる人々が快適に過ごすことができるように、人にやさしい都市づくりを進めていく。「武蔵野市らしさ」のあるまちづくりを進めることで、まちの魅力を高め、武蔵野市を訪れたい、働きたい、住み続けたいと望む人を増やす。

■具体的な施策と KPI

1 地域社会と市民活動の活性化

- ① コミュニティセンターの利用促進
- ② 市民活動団体相互のネットワーク形成と活動支援

2 市民文化の醸成

- ① 地域における様々な文化活動への支援の推進
- ② まちの魅力や情報の発信と共有
- ③ 観光機構の機能の充実

3 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援

- ① 生涯学習機会の拡充
- ② スポーツの振興

4 地域の特性を活かした産業の振興

- ① 創業支援事業
- ② 中小企業者への支援事業の充実
- ③ 観光振興事業の推進

5 都市・国際交流の推進

- ① 友好都市交流事業
- ② 市内に在住する外国人等への日常生活支援

6 災害への備えの拡充

- ① 防災体制の強化
- ② 住宅の耐震化の推進

7 「緑」を基軸としたまちづくりの推進

- ① 緑の保全と創出
- ② 緑と水のネットワークの推進

8 公共施設ネットワークと都市基盤の再整備

- ① 公共施設・都市基盤の維持・更新

9 社会の変化に対応していく行財政運営

- ① 効率的・効果的な行政サービスの提供
- ② 健全な財政運営の維持

※KPIは、別途設定する。